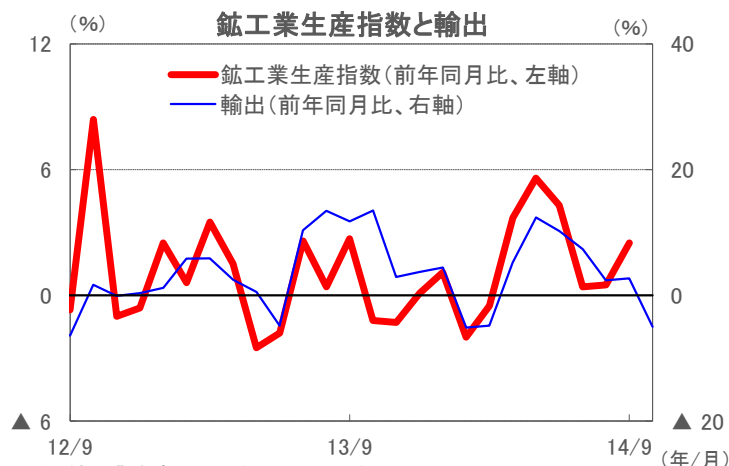


今日のトピック 最近の指標から見るインド経済(2014年11月) 景気は企業景況感の改善などから底堅く推移

ポイント1 生産は持ち直す

輸出は軟調に推移

- 9月の鉱工業生産指数は前年同月比+2.5%となり前月(同+0.5%)から上昇しました。製造業の増加により上昇率が加速しました。
- 10月の輸出は前年同月比▲5.0%となりました。輸出は、全体の約16%を占める欧州向けが低調なことから、軟調に推移しています。



(注) 鉱工業生産は2012年9月~2014年9月。

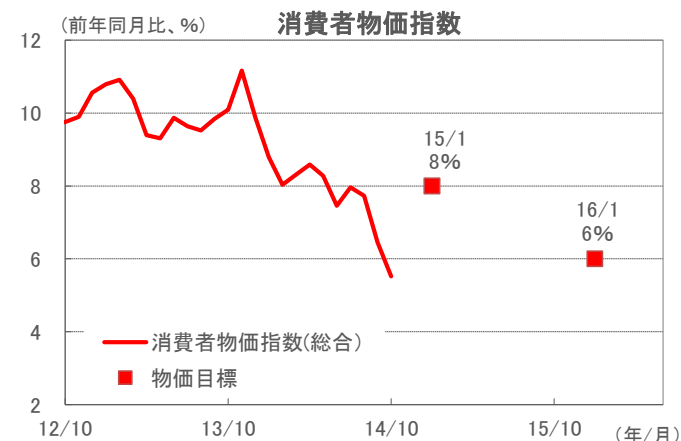
輸出は2012年9月~2014年10月。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 物価上昇率は低下

来年前半の利下げ観測が強まる

- 10月の消費者物価指数は、前年同月比+5.52%と前月(同+6.46%)から大幅に低下しました。工業製品価格の落ち着きに加え、食品価格と燃料価格の上昇率が前月に続き低下したことが主な要因です。
- RBIは政策金利(レポレート)を今年1月に引き上げて以降8.0%に据え置いています。RBIは、物価上昇へ警戒的な姿勢を維持しているものの、足元での原油価格の下落などを受け金融引き締め姿勢を幾分和らげています。



(注) データ期間は2012年10月~2014年10月。

物価目標はインド準備銀行(RBI)による。

(出所) Bloomberg L.P.、RBIのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

景気は企業景況感の改善や輸出の拡大を支えに底堅く推移する見込み

- 経済政策への期待による企業景況感の改善や、世界経済の回復による緩やかな輸出の拡大を支えに景気は底堅い推移が見込まれます。
- 物価上昇率は、原油価格の下落や通貨の安定などから、RBIの2015年1月の目標である8%以下を達成しそうです。RBIは、物価の落ち着きが見込まれることから、2015年前半にも利下げに踏み切りそうです。
- ルピーは、日銀による追加金融緩和により、10月末以降対円で上昇基調を強めています。インドでは来年前半の利下げ観測が強まっているものの、日銀の強力な金融緩和が続く見込みであることから、ルピーは対円で底堅く推移しそうです。中長期的には、政府とRBIによる物価抑制策や経済構造改革、財政健全化が、国債の信用力を高めルピーの上昇要因と見られます。

ここも チェック!

2014年10月17日【デイリー No.1,972】最近の指標から見るインド経済(2014年10月)
2014年07月23日【デイリー No.1,919】インド株式市場の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。